

## 令和元年度重点目標（案）

2025 年を見据えた社会保障制度改革が進み、病床の機能分化、地域包括ケアシステムの構築が進んでいる。このような社会情勢を踏まえ、高齢者のみならず子どもや子育て世代も含めた全ての世代や社会的弱者にとっても、より安心して生活できる仕組みにしていく必要がある。

このような社会情勢を踏まえ新潟県看護協会は、県民誰もが可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう本会の使命である「看護の質向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を基に、看護職としての役割を積極的に担う立場から、令和元年度の重点目標として、以下の4点を挙げ事業を展開する。

- 地域包括ケアにおける看護提供体制の推進
- 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
- 看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成
- 経営基盤及び組織の強化

「地域包括ケアにおける看護提供体制の推進」については、看護実践能力の向上と人材育成、在宅療養者を支える訪問看護の体制整備のための事業を強化する。地域のニーズに対応した地域包括ケアシステムの推進に向け、多職種との連携を更に強化する。

「看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進」については、平成30年度から新潟県医療勤務環境改善支援センターとの連携を図りながら進めており、看護職が健康で安心して働き続けられる環境整備の推進に看護協会の経験を活かし、積極的に関わる。また、ナースセンター機能を強化し、看護職の確保・定着の総合拠点としての役割を果たすために上越相談窓口を支所とするとともに南魚沼の相談窓口を移転した。令和元年度は中越地域の相談体制の拡充を検討し、安定的な看護職員確保につなげる。

「看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成」については、質を高める看護教育や専門能力を支援する教育体制の充実に向けた継続教育、クリニカルラダーと連動した継続教育に取り組むとともに、資格認定教育をすすめる。

「組織強化」については、昨年度までの支部活動をさらに推進し、病院等の看護管理者の協力・支援を得ながら組織的な連携・強化に取り組む。また、会員拡大及び経営基盤の強化を図るため、他団体との連携強化や入会を促進する方策を検討する。

なお、重点目標以外に次の2つの事業を進める。一つ目は「新潟県看護研修センターあり方検討委員会」（特別委員会）の検討結果を踏まえ、今後の方向を見据えた看護研修センターのあり方を継続して検討する。二つ目は平成23年3月に発行した新潟県看護史「看護の歩みⅡ」に引き続き、新潟県看護史の編纂に向けて、「看護編纂委員会（仮称）」（特別委員会）を立ち上げ、情報収集等、編纂に向けた準備を進める。

## 令和元年度 新潟県看護協会 重点目標・重点事業（案）

### 重点目標：

- 1 地域包括ケアにおける看護提供体制の推進
- 2 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
- 3 看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成
- 4 経営基盤及び組織の強化

### 重点事業：

- 1 - 1 在宅・施設等の看護実践能力の向上と人材育成
- 1 - 2 地域のニーズに対応した地域包括ケアシステムの推進と多職種連携の推進
  
- 2 - 1 勤務環境改善に向けた取り組み
- 2 - 2 ナースセンター機能の強化
- 2 - 3 看護の日普及活動・県民の健康及び福祉増進
  
- 3 - 1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
- 3 - 2 ラダーと連動した継続教育
- 3 - 3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
- 3 - 4 専門能力開発を支援する教育体制の充実にに向けた継続教育
- 3 - 5 資格認定教育
  
- 4 - 1 新会員管理体制の円滑な運用・活用及び会員拡大
- 4 - 2 支部活動の円滑な運営及び看護管理者との連携強化

## 令和元年度重点目標・重点事業

1. 地域包括ケアにおける看護提供体制の推進

1-1: 在宅・施設等の看護実践能力の向上と人材育成

### 実施内容

1. 訪問看護サービスの質の向上

- 1) 訪問看護従事者の研修会の実施
- 2) 訪問看護実態調査の実施
- 3) 訪問看護推進協議会の開催
- 4) 訪問看護教育体制の整備
- 5) 精神科訪問看護基本療養費算定要件研修の実施

2. 介護施設等における看護の質の向上

- 1) 施設等の看護職の研修会の実施

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

地域包括ケアシステムの推進に向けて、在宅・施設等の看護人材の確保育成及び質の向上が課題である。訪問看護の質の向上及び地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割を学ぶ研修内容を検討するとともに、施設等の看護管理者の研修を実施する。さらに、令和元年度は訪問看護師等の精神疾患患者の支援に関する資質向上を図る研修を新規に実施する。

また、訪問看護実態調査結果や前年度から実施している訪問看護教育体制整備事業の評価を行い、県の施策に繋げるべく、政策提言、周知を行う。

### 実施内容

1. 訪問看護サービスの質の向上

- 1) 訪問看護従事者の研修会（実践編、管理編）及び在宅看護研修会の実施
- 2) 県内の訪問看護事業所を対象に、訪問看護実態調査を実施し、訪問看護師の業務背景や訪問看護の課題等を把握し、訪問看護の充実に向けた基礎データを収集
- 3) 訪問看護推進協議会を開催し、訪問看護の推進に係る活動方針や事業の協議
- 4) 訪問看護教育体制整備事業の実施及び評価
- ⑤) 精神科訪問看護基本療養費算定要件研修の実施

2. 介護施設等における看護の質の向上

- 1) 施設等の看護職の研修会の実施

## 令和元年度重点目標・重点事業

1. 地域包括ケアにおける看護提供体制の推進

1-2: 地域のニーズに対応した地域包括ケアシステムの推進と多職種連携の推進

### 実施内容

1. 地域のニーズに対応した地域包括ケアシステムの推進

- 1) 支部活動を活性化し、多職種の連携を推進する研修の実施と連携強化の取組の検討
- 2) 地域の看護力を結集し、看護職間の連携を強化

2. 地域包括ケアシステムの推進に向けた多職種の連携の推進.

- 1) 看護実践研修等において研修対象を拡大し、研修周知の強化
- 2) 研修企画において、多職種と連携した内容の検討と実践
- 3) 地域包括ケアシステム推進のための研修実施

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

地域包括ケアの推進に向け、看護管理者及び行政保健師が地域内で課題を共有し、看護提供体制の整備を協働で図るために、支部活動の活性化を図る。

また、看護と多職種との連携を理解し、協働で生活を支えることを学ぶ看護実践研修等において、研修の受講対象者を多職種にも拡大する等、研修開催の周知や研修内容の充実を図り、多職種との連携を強化する。

### 実施内容

1. 地域のニーズに対応した地域包括ケアシステムの推進
  - 1) 支部活動を活性化し、多職種の連携を推進する研修の実施と連携強化の取組の検討
  - 2) 地域の看護力を結集し、看護職間の連携を強化
2. 地域包括ケアシステムの推進に向けた多職種の連携の推進
  - 1) 看護実践研修等において理学療法士、作業療法士等、研修対象を拡大し、研修周知を強化
  - 2) 研修企画において、薬剤師、栄養士等の多職種と連携した内容の検討と実践
  - 3) 地域包括ケアシステム推進のための研修実施

## 令和元年度 重点目標・重点事業

2. 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
- 2-1: 勤務環境改善に向けた取り組み

### 実施内容

#### 1. ワーク・ライフ・バランス（WLB）推進による勤務環境改善の推進

1. 「医療従事者のワーク・ライフ・バランス推進事業」インデックス実態調査活用の推進および医療勤務環境改善支援センターとの連携と協働
2. 労働環境改善推進委員会の実態調査に関する検討

#### 2. 労働時間に関する指針の改正に向けた取り組み周知

1. 勤務間インターバル、夜勤後の休息の重要性等に関する周知

#### 3. ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の考え方の周知

1. 「ヘルシーワークプレイス」の考え方をふまえた労働安全衛生ガイドラインの普及

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護職が生涯にわたり健康で安全に働き続けられる勤務環境や労働条件は、質が高く持続的な看護提供体制を構築するための基盤である。平成 22 年～29 年度「看護職のワーク・ライフ・バランス」を支援し多様な勤務形態の導入、育児短時間正規職員等の勤務を継続することが可能となっている。一方、夜勤労働力の確保困難や看護職の平均年齢の上昇、定年後の再雇用者活用など新たな課題も出てきている。今後も、医師会と協働しやりがいを持ち働き続けられる職場環境改善の支援を行う。

### 実施内容

#### 1. ワーク・ライフ・バランス（WLB）推進による勤務環境改善の推進

- 1) 「医療従事者のワーク・ライフ・バランス推進事業」インデックス調査の活用の推進及び医療勤務環境改善支援センターとの連携と協働

- ・インデックス実態調査の分析に基づいた支援、ワークショップの開催
- ・参加施設の看護管理者・推進体制へのアウトリーチ型支援

- 2) 労働環境改善推進委員会の実態調査に関する検討

- ・看護職の労働環境改善の実態調査における分析・課題の検討

#### 2. 労働時間に関する指針の改正に向けた取り組み周知

- 1) 勤務間インターバル、夜勤後の休息の重要性等に関する周知

- ・勤務間インターバル、夜勤後の休息の重要性等に関する情報提供
- ・働き方改革関連法に関する通知に関する情報提供

#### 3. ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の考え方の周知

- 1) 「ヘルシーワークプレイス」の考え方をふまえた労働安全衛生ガイドラインの周知

- ・「ヘルシーワークプレイス」の考え方をふまえた労働安全衛生ガイドラインに関する情報提供

## 令和元年度 重点目標・重点事業

2. 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
- 2-2: ナースセンター機能の強化

### 実施内容

#### 1. 地域に必要な看護職確保の推進

1. 各相談窓口、上越支所の連携及び支所増設の検討
2. ナースセンターの利用促進、届出制度の促進

#### 2. 看護職の多様なキャリア支援

1. 未就業者看護職の実態調査分析
2. 未就業者の研修支援の見直しと検討

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

地域包括ケアシステムや地域医療構想の実現に向けて、看護職確保は重要な課題である。地域で必要な人材を地域で確保できるための求人・求職支援は重要である。平成30年度に上越を支所に申請し新潟と2ヶ所で行っている。一方、新潟県内の長岡ハローワーク相談は需要の多い地域であるが相談窓口が無い現状である。看護職の無料職業紹介は県委託事業のため体制や予算については、課題はあるが新潟県内の上・中・下越地域設置の将来像に向け長岡無料職業紹介設置の検討を行う。また、再就職セミナーの充実にむけ再検討を行う。

### 実施内容

#### 1. 地域に必要な看護職確保の推進

##### 1) 柏崎・南魚沼相談窓口、上越支所の連携及び新規支所増設の検討

- ・中越地区の現状把握と柏崎・南魚沼相談窓口と連携しながら看護職の確保を推進する
- ・再就職に向けて、求人施設・求職者登録が可能か課題の抽出および検討を行う

##### 2) ナースセンターの利用促進、届出制度の促進

- ・届出制度「とどけるん」の活用に関する周知、現状把握、課題整理、運用方法等の提案
- 「とどけるん」を活用した復職支援
- ・ナースセンターの届出や活動周知のためのPR

#### 2. 看護職の多様なキャリア支援

##### 1) 未就業者看護職の実態調査分析

- ・実態調査の回収率向上に向けた検討及び分析を行い、働き続けられるための方策や支援の情報提供

##### 2) 未就業者の研修支援

- ・新潟・上越支所にて施設見学ツアーの提供
- ・再就職セミナーの見直し、eラーニング導入等の活用

## 令和元年度 重点目標・重点事業

2. 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進  
2-3: 看護の日普及活動・県民の健康及び福祉増進

### 実施内容

#### 1. 高校生1日体験事業の推進

1. ふれあい看護師体験事業を病院と学校のマッチングに向け検討
2. 看護体験を通し次世代に向けたPRの推進

#### 2. 看護の日普及活動

1. 長年看護職に貢献した方へ看護功労賞者表彰を推進
2. 公開講演を通し一般参加者への普及およびPRの推進

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

一般の高校生が普段直接関わる機会の少ない医療関係者との交流や看護体験ができることは、「看護の仕事」を知ってもらう意味でも貴重な体験である。地域包括ケア時代において、医療・福祉関係の人材確保は重要な課題であり学校からの参加希望者が増加している一方、病院と学校のマッチングが課題である。今後の次世代を育成するためにピアール活動及びマッチング支援を継続していく必要がある。

### 実施内容

#### 1. 高校生1日体験事業の推進

##### 1) ふれあい看護師体験事業を病院と学校のマッチングに向け検討

- ・参加者及び受入れ施設等の時期・期間等の要望・調整を行う

##### 2) 看護体験を通し次世代に向けたPRの推進

- ・ふれあい体験集の冊子作成し学校・病院及び関係機関へ配布

#### 2. 看護の日普及活動

##### 1) 長年看護職に貢献した方へ看護功労賞者表彰を推進

- ・看護功労賞者（新潟県知事表彰、新潟県看護協会会長表彰）

##### 2) 公開講演を通し一般参加者への普及およびPRの推進

- ・看護の日に「高校生1日看護師体験」ふれあい体験発表会
- ・「看護の日」普及活動として一般参加者増加へむけて公開講座の推進

## 令和元年度重点目標・重点事業

3. 看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成
- 3-1: 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

### 実施内容

#### 1 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修

- 1) 各職能研修の実施

#### 2 政策提言に向けた研修

- 1) 看護の将来ビジョンと医療政策研修の実施
- 2) 准看護師進学支援の実施

#### 3 診療報酬に関連した研修

- 1) 看護補助者活用のための看護管理者研修の実施
- 2) 認知症対応力向上研修の実施

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育として、新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修、政策提言に向けた研修、診療報酬に関連した研修を実施する。

### 実施内容

#### 1 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修

新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修としては、各職能による研修を実施する。

#### 2 政策提言に向けた研修

- 1) 看護の将来ビジョンと医療政策研修の実施
- 2) 准看護師進学支援の実施

#### 3 診療報酬に関連した研修

- 1) 看護補助者活用のための看護管理者研修の実施
- 2) 認知症対応力向上研修の実施



## 令和元年度重点目標・重点事業

3. 看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成  
3-2: ラダーと連動した継続教育

### 実施内容

#### 1 クリニカルラダーと連動した継続教育

- 1) ニーズをとらえる力を高める研修の実施
- 2) ケアする力を高める研修の実施
- 3) 協働する力を高める研修の実施
- 4) 意思決定を支える力を高める研修

#### 2 「助産師実践能力習熟段階（CLOCMiP）」研修の実施

- 1) CLOCMiP 申請・更新のための集合研修の実施

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）を活用し、あらゆる施設・場における基盤となる看護実践能力の4つの能力に関する研修を実施する。助産師の助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）（Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practice、以下CLOCMiP®）のステップアップならびに更新のために集合研修を実施する。

### 実施内容

- 1 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修として下記の4つの力を育成する研修を実施する。記載は主な研修である。
  - 1) ニーズをとらえる力を高める研修の実施
    - ・看護現場で活かせるフィジカルアセスメント研修
    - ・助産師スキルアップ研修
  - 2) ケアする力を高める研修の実施
    - ⑧・新人看護職のための医療安全研修
    - ⑧・1人ひとりが取り組む現場に活かす感染管理研修
  - 3) 協働する力を高める研修の実施
    - ・地域につなぐ外来看護・求められる専門性
    - ⑧・今だからこそチーム医療推進研修
  - 4) 意思決定を支える力を高める研修の実施
    - ・看護倫理研修
    - ⑧・グリーフケアに寄り添う看護の力
- 2 「助産師実践能力習熟段階（CLOCMiP）」申請・更新のための集合研修の実施

## 令和元年度重点目標・重点事業

3. 看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成

3-3: 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教

### 実施内容

#### 1 看護管理者を対象とした研修の実施

- 1) 地域包括ケアシステムを推進する研修
- 2) 認定看護管理者教育課程公開講座

#### 2 これからの管理を担うものを対象とした研修の実施

- 1) 次世代看護管理者のための人材育成研修

## 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

地域包括ケアシステム推進研修に取り組み5年目となる。地域包括ケアシステムにおける看護が果たす役割と意義を理解し、在宅療養を見据えたケアの受け手の生活を想定できる看護師の育成が課題である。その要となる看護管理者・これからの管理を担う人の力量形成に向けた研修を実施する。

## 実施内容

### 1. 看護管理者を対象とした研修

#### 1) 地域包括ケアシステムを推進する研修

㊦・地域包括ケアシステムの推進に取り組む看護管理者の役割研修の実施

#### 2) 認定看護管理者教育公開講座研修

・人的資源活用論・医療経済論・看護組織管理論等

### 2. これからの管理を担う人を対象とした研修

#### 1) 次世代看護管理者のための人材育成

㊦・看護管理のための交渉術研修の実施

㊦・在宅に向けた質の高いサービスマネジメント研修の実施

## 令和元年度重点目標・重点事業

3. 看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成
- 3-4: 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

### 実施内容

#### 1 施設内教育におけるクリニカルラダー活用のための研修

- 1) 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）活用した組織内教育の実施

#### 2 都道府県看護協会の教育担当者・教育委員対象の研修の実施

- 1) 本会の教育担当者及び教育委員（支部を含む）を対象とした研修の実施

## 事業概要【 事業経過、課題、今後の展望】

各施設のラダーを活用した教育活動を展開するための支援として、先行施設の情報公開やプログラム作成に向けた情報共有等の研修会を行う。また、本会の教育担当者及び教育委員及び支部を含む教育委員の育成のための継続教育研修を実施する。

## 実施内容

### 1 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）活用した組織内教育の実施

- 1) 「看護師のクリニカルラダー」を活用した組織内教育の推進を図る。
  - ・DVD 研修並びに先行施設からのラダー作成及び研修プログラムの情報提供研修の実施
  - ・インターネット各施設への配信研修の受講周知を行う。

### 2 本会の教育担当者及び教育委員（支部を含む）を対象とした研修の実施

- ・オンデマンド配信研修「継続教育プログラム開発」研修を行う。

## 令和元年度重点目標・重点事業

3. 看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成
- 3-5: 資格認定教育

### 実施内容

#### 1 認定看護管理者育成のための教育

- 1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル
- 2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル
- 3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者フォローアップ

#### 2 看護教員養成講習

- 1) 看護教員養成講習会の実施

#### 3 各種資格取得者フォローアップ研修

- 1) 緩和ケア認定看護師フォローアップ研修
- 2) 看護教員養成講習修了者・臨地実習指導者養成講習のフォローアップ研修

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

新潟県看護協会では平成6年より認定看護管理者教育ファーストレベルを開講し、平成16年からはセカンドレベルを開講し、修了者を多数、輩出してきた。今年度も認定看護管理者教育を継続する。また、県内に看護基礎教育機関が新規に設置される状況に鑑み、看護教員養成講習会を実施する。さらに、平成29年度、30年度に開講した緩和ケア認定看護師等の資格取得者のフォローアップ研修を実施する

### 実施内容

#### 1 認定看護管理者育成のための教育

- 1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベルの実施
  - ・カリキュラム変更に伴う統合演習への支援
- 2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルの実施
  - ・カリキュラム変更に伴う地域連携実習への支援
- 3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者フォローアップ研修
  - ・実践報告書の作成及び発表への支援

#### 2 看護教員養成講習会の実施

#### 3 認定看護師のための教育

- 1) 緩和ケア認定看護師フォローアップ研修の実施
- 2) 看護教員及び臨地実習指導者取得者等のフォローアップ研修の実施

## 令和元年度重点目標・重点事業

### 4. 経営基盤及び組織の強化

#### 4-1: 新会員管理体制の円滑な運用・活用及び会員拡大

#### 実施内容

##### 1 新会員管理体制ナースシップ及び研修履歴システムの周知及び円滑な運用

###### 1) 各種媒体による会員への周知の実施

##### 2 協会活動の充実のための会員増加等の取り組み

###### 1) 協会活動及び関係団体活動を通して入会への周知の実施

###### 2) 職能委員会活動との連携

###### 3) 地域医療介護総合確保基金等の活用

##### 3 入会を促進するためのインセンティブ方策を検討

### 事業概要【 事業経過、課題、今後の展望】

新会員情報管理体制ナースシップに新たに研修履歴システムが導入され、教育研修事業に大きな活用・効果が見込まれる。会員のサービス向上が図られることから、円滑な同システムの運用を行う必要がある。社団法人の基盤である会員数が伸び悩んでおり、会員増への取り組みが必要である。

### 実施内容

- 1 新会員管理体制ナースシップ及び研修履歴システムの周知及び円滑な運用を行う。  
看護協会だより等の各種媒体を活用し、会員への周知を行う。
- 2 協会活動充実のための会員増加等の取り組み
  - 1) 支部集会、地区ごとの看護部長会等に参加し協会入会への周知を図る。
  - 2) 教育機関、福祉関係団体等を通じて協会入会への周知を図る。
  - 3) 職能委員会活動との連携
  - 4) 地域包括ケア推進等に向けた地域医療介護総合確保基金の活用
- 3 入会を促進するためのインセンティブ方策を検討する。

## 令和元年度重点目標・重点事業

4. 経営基盤及び組織の強化

4-2: 支部活動の円滑な運営及び看護管理者との連携強化

### 実施内容

1 支部活動の円滑な運営

- 1) 支部通常集会等への参加による連携強化
- 2) 支部長会議等での活動の情報提供及び意見交換の実施

2 看護管理者との連携強化

- 1) 看護管理者を対象とした情報交換会の検討

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

支部との連携を図り特色ある支部活動を推進するとともに、各支部が地域包括ケアシステム推進において看護職能団体としての役割を發揮していく必要がある。協会組織の円滑な運営及び基盤強化には、会員が所属する病院等の看護管理者の協力・支援を得る必要がある。

### 実施内容

- 1 支部活動の円滑な運営
  - 1) 支部通常集会、研修等への参加による連携強化
  - 2) 支部長会議等での活動の情報提供及び意見交換の実施
- 2 看護管理者との連携強化
  - ① 1) 看護管理者を対象とした情報交換会の実施
  - 2) 地区ごとの看護部長会等への参加